

電波時計（置時計） 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して時刻を自動修正
- 暗くなると秒針が止まります

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（枠や文字板等）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、裏面または底面に表示されている製品番号（型番）をお伝えください。例 4RY○○○

お問い合わせ先 ■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1112)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

🚫 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
禁止 ●電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

🚫 電池から液もれが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●もれた液に直接触れないでください。

ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る 液もれや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

🚫 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

❗ 強い振動や衝撃を与えない
必ず守る 故障や破損の原因になります。

🚫 分解したり改造しない
分解禁止 けがや故障の原因になります。

■使用場所について

❗ 下記のような場所では使わない
必ず守る 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。（プール、温泉場など）
- 多くの油を使用する所。（調理場など）
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

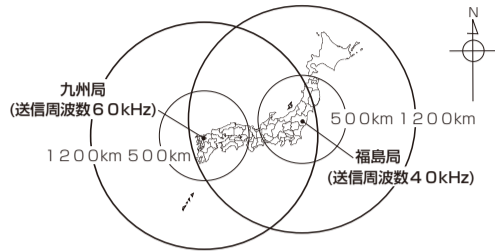
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用はお勧めできません。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

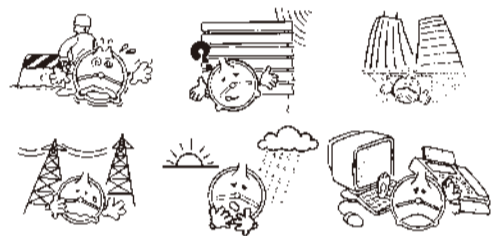


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

お手入れについて

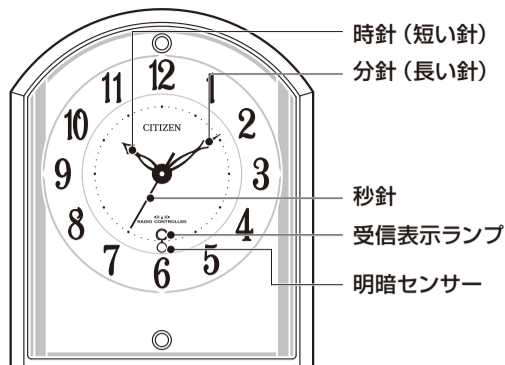
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

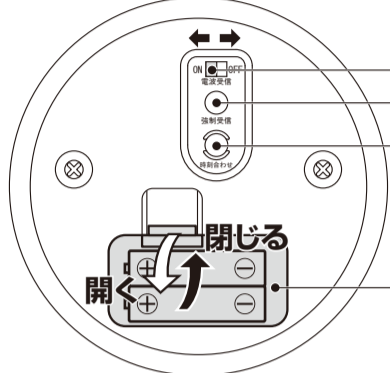
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



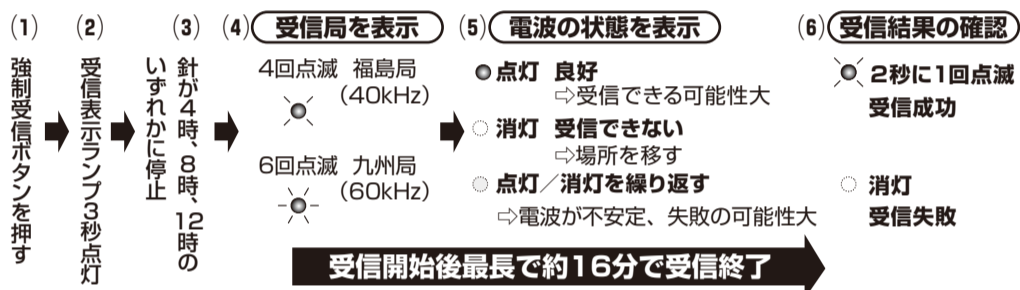
針の動き……通常の時刻表示
時計・分針：10秒に1回動きます。
秒針：1秒ステップで動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。

(裏面操作部)



電波受信スイッチ ①
ON：電波を受信して時刻を修正。
OFF：電波を受信しません。クォーツ時計として使用。
強制受信ボタン ③
電池を入れたとき、場所を移動したときなどに押します。
時刻合わせボタン
受信できないときなど、手で時刻合わせをするときに使います。不用意に押すと時刻が変わります。
電池ふた ②
電池ふたを取り外し、単4形アルカリ乾電池2個を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れ、電池ふたを取り付けてください。

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた

- ①窓際やベランダで(5)まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。
②時計を掛けたいところに移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に停止して受信表示ランプが消灯します。

電池の交換について

電池の残量が少なくなると、強制受信ボタンを押したときや自動受信を開始したときに、針が動いたままになったり、不規則な動きをすることがあります。

注意 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 時計が止まったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
●古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。



おもな製品仕様

Table with specifications: 使用温度範囲, 時間精度, 使用電池, 電池寿命, 暗所停止, 電波受信機能, 受信局, 受信ON/OFF, 受信回数, 受信開始時刻.

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
付属品 単4形アルカリ乾電池 2個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

使用方法 電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせる場合は、(A) 標準電波を受信できない場合を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- ① 電波受信スイッチをONにする
② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
③ 強制受信ボタンを押す
④ 16分待つて受信結果を確認する

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

設置について

時計の転倒や落下による破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところでご使用ください。

(A) 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
●場所を変える／受信をやり直す
●時刻を合わせて使用する

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせて

時刻合わせボタンを操作することにより、手で時刻を合わせるができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送り動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
時刻合わせボタンを押しつづけると早送り動きます。このとき秒針は停止します。
秒針の動きについて

秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、「0秒」に設定されています。
秒針が12時位置に停止しているときは、すぐに動き出し、他のところに停止しているときは、秒針が指している時刻になると動き出します。

(B) 標準電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波受信スイッチをOFFにすると電波を受信しないようにすることができます。
○電波受信スイッチをOFFにして強制受信ボタンを押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。

こんなときには

○電波受信スイッチをONにして、強制受信ボタンを押しても受信表示ランプが点灯しない。
正常に戻すには、つぎの操作をしてください。
時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押してください。

